

現在、自治体では、これまで実施してきた歳出削減に加え、既存財源の見直しや新たな財源確保策に取り組むことによる歳入の確保が、喫緊の課題となっています。

この研修では、講義や事例紹介、情報交換を通して、次のような項目の習得を目指します。

- 地方財政の現状と自治体の財源確保策の考え方を学びます。
- 施設使用料等の適正化、自治体債権の一元管理をはじめ、クラウドファンディング、広告料収入やネーミングライツによる歳入確保、営業活動の重点化や地域資源による税源涵養を通じた歳入確保等について、事例を通して学びます。
- 情報交換会で、各受講団体における取り組み事例について理解を深めます。

開催要領

日 程	平成28年11月9日(水)～11月11日(金) (3日間)	
場 所	全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分	
対 象	財源確保に取り組む業務に携わる市区町村等(企画、財政、行政経営、施設の担当者等)の職員 3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。 ※議員の方も参加可能ですが、市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、お申込みは必ず議会事務局を通じてお願いします。	
募集人数	30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。 なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。	
宿 泊	研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。	
経 費	10,500円 上記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。 なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。	
申込期限	平成28年10月4日(火)まで	
申込方法	JIAMホームページ内「Web申込み」からお申し込みください。 議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。 「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。 ※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集にも掲載しております。	
受講決定	受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。	
事前課題	研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。 詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。	

※本研修は、関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授 稲沢 克祐 氏にご指導いただけます。

講師紹介

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授 稲沢 克祐 氏

平成18年から現職。専門分野は行政評価論、公会計論、地方財政論。
経務省地方公会計の活用のあるり方に関する研究会委員、篠山再生計画推進委員、秩父市行政経営アドバイザー、茅野市行政アドバイザー(行政経営分野)等の公職を歴任されています。

主な著書は、「一番やさしい地方交付税の本」(学陽書房)、「自治体の財政診断と財政計画～決算重視による財政マネジメント～」(学陽書房)、「増補版 行政評価の導入と活用ー予算・決算、総合計画」(イマジン出版)、「自治体の予算編成改革」(ぎょうせい)、「自治体 歳入確保の実践方法」(学陽書房)、「英国地方政府会計改革論」(ぎょうせい)等多数。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団

全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

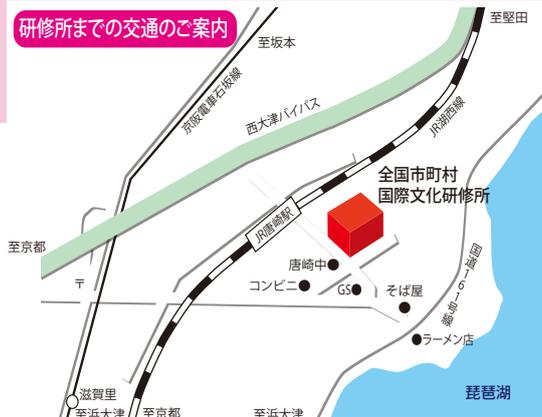
TEL 077-578-5932

FAX 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp

[ホームページ] <http://www.jiam.jp>

- 最寄り駅は、JR湖西線唐崎駅です。
- JR京都駅から唐崎駅までの所要時間は、約15分です。
- JR唐崎駅から研修所までは、徒歩約3分です。



11/9
(水曜日)

- 11:00～ **入寮受付・昼食**
- 12:30～ **開講・オリエンテーション**
- 13:00～18:00 **【講義】自治体の財源確保策～事例紹介理解のための基礎知識～**
関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授 **稲沢 克祐** 氏
地方財政の現状を踏まえ、自治体財源の確保に関する基本的な事項について講義いただきます。財政運営の諸課題を整理し、受益者負担、債権の一元管理、クラウドファンディングの活用等の歳入確保策について、論点等を解説していただきます。
また、研修で行う事例紹介の理解を深めるため、基礎的な項目について講義し、公共サービスを提供する経費の根拠数値となる「フルコスト計算」等についても整理し、解説していただきます。
- 18:30～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

11/10
(木曜日)

- 9:20～10:30 **【事例紹介①】施設使用料等の適正化** 長浜市会計課 主幹 **岸田 洋平** 氏
平成18年、22年と二度にわたる合併を経た長浜市から、同種・同規模の施設間における使用料等の格差是正に関する取り組みについて、公民館やスポーツ施設等の事例をご紹介します。
- 10:40～11:50 **【事例紹介②】自治体債権の一元管理** 船橋市税務部債権管理課長 **仲臺 幸彦** 氏
船橋市が、平成20年度から取り組まれている市税及び自力執行権のある強制徴収公債権の一元徴収や、非強制徴収公債権及び私債権の支払督促・訴訟等の一元化や債権放棄等についてご紹介いただきます。
- 12:50～14:00 **【事例紹介③】クラウドファンディングによる歳入確保**
鎌倉市市民活動部スポーツ課長 **江口 達也** 氏
鎌倉市におけるクラウドファンディングによる資金調達について、その考え方、進め方、効果等をご紹介します。
- 14:10～15:30 **【事例紹介④】広告料収入・ネーミングライツ・企業タイアップ等による歳入確保
(公民連携の視点から)**
横浜市政策局共創推進室共創推進課 担当係長 **河村 昌美** 氏
横浜市の財源確保や経費削減の取り組みについて、平成16年度から実施されている全庁的な広告事業、またネーミングライツ、企業タイアップを中心に、官民連携の考え方や手法についてもご紹介いただきます。
- 15:40～17:00 **【事例紹介⑤】営業活動による歳入確保の実際** 福井県総合政策部長 **山田 賢一** 氏
福井県では、「ふくいブランド」として、恐竜をはじめ、食や歴史など様々な魅力を発信しておられます。従来の行政手法とは一線を画する「行政ビジネス」、民間企業とのコラボレーションなどにより、公費を極力使わずに歳入確保の成果をあげる試みについてお話しいたします。
- 17:10～18:00 **【演習】情報交換会** 各事例紹介をして頂いた講師の方々
少人数で自治体の財源確保について意見交換を行っていただきます。各グループには事例紹介の講師にもっていただき、取り組み内容やその課題についての理解を深めます。

11/11
(金曜日)

- 9:20～10:50 **【事例紹介⑥】地域資源による歳入確保** 高知県馬路村長 **上治 堂司** 氏
村の産物である、ゆずや木材などの地域資源を活用して、全国ブランドの地位を確立することにより、自治体の歳入確保に取り組み始めた馬路村の事例をお話しいたします。
- 11:00～12:00 **【講義】総括講義** 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授 **稲沢 克祐** 氏
稲沢氏より、これまでの講義、事例紹介を踏まえながら、まとめの講義として、事例理解のためのポイントおよび事例紹介で扱わなかった公有財産の活用等の財源確保策も含めて解説していただきます。
- 12:00～12:30 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講
(閉講後、昼食)**

◎研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。

なお、研修についての最新情報は、JIAM ホームページをご覧ください。

◎受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。

◎当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。